



2016年5月25日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社
株式会社 たち吉

2016年3月期（2015年度）決算

通期黒字化を達成

株式会社 たち吉（本社 京都府京都市、代表取締役社長 渡邊 信夫）は25日、2016年3月期（2015年4月1日～2016年3月31日）の業績を発表しました。前年までの赤字経営から脱却して、黒字に転換しました。

2016年3月期の業績、並びに2017年3月期（2016年4月1日～2017年3月31日）の見通しは、下記の通りです。

－記－

2016年3月期（2015年度）決算概要

（単位：百万円）

通期決算	売上高	営業利益	経常利益	純利益
2016年3月期	4,326	33	27	40
2015年3月期	4,060	△ 277	△ 305	△ 383
増加額	266	310	332	423

2017年3月期（2016年度）見込

（単位：百万円）

通期決算	売上高	営業利益
2017年3月期（見込）	4,400	45
2016年3月期	4,326	33

当期の特筆すべき点は、経営危機に瀕したたち吉が2015年4月より企業再生ファンドであるニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、取締役会長兼社長 安東 泰志）を招いて経営の再建に取り組み、特に、たち吉ブランドの再構築に道筋をつけたことが挙げられます。

黒字化の主な要因としては、ブランドの再構築による売り上げ増に加え、①アウトレット、外商、新規海外店舗の開設などによる売上の増加、②販売促進費の抑制、③物流拠点の集約効果、④業務プロセスの見直し効果——などが挙げられます。

今期（2016年度）の見通しについては、売上高 44 億円 営業利益 45 百万円を見込んでいます。

以上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社 たち吉

広報担当(IFC)：竹江、牧野 03 (5532) 8065、メール：k-makino@ifcpr.co.jp